

さあ、いよいよ音楽の授業が始まります

音楽の授業へようこそ

中学校の音楽の授業は、得意な人でも不得意な人でも、大歓迎です。歌や楽器が好きな人もちょっと恥ずかしい人も、とにかくまずは「やってみる」ことです。そして、「本気でやってみる」ことです。それだけで、今までとは違う自分に出会うことができますよ。

1年生には対面式で先輩達の歌やパフォーマンスを聴かせたかったです！

先輩達も1年生の時に全員、音楽が得意だったわけではありません。でも、今は響く声で歌わずにはいられない生徒になっています。皆さんもきっと大丈夫！恥ずかしがらず怖がらず、「音」を楽しんでみましょう！

2年生の授業では歌うこと楽器を演奏することだけではなく、世界の民族音楽や日本の伝統音楽など、さまざまな音楽に触れることにより、よりいっそう音楽への親しみもわいてくると思います。これから学習を進めていく上で、音楽の楽しさを味わえればよいと思います。

3年生の音楽の授業は、義務教育最後の音楽の授業です。高校では、音楽は芸術科目として選択ですので、音楽の授業を受けることが最後になる人もいます。小学校、中学校1・2年の学習のうえに立ち、より深い内容を学習し、将来、合唱団に入団したり、バンドを組み曲を作るなど、生涯にわたって、楽しくいろいろな音楽と触れ合っていくのに役立つ音楽の授業を展開します。

どの学年にも言えることは「本気でやってみよう」ということです。本気でやればおもしろい！

○学習内容

歌唱

1年では混声合唱活動が中心になります。

2年では男子の声も徐々に落着き、いよいよ大人の声に変化していく時期になります。伸びやかな声を出すとともに、気持ちを込めて歌えるように取り組みましょう。

3年では混声4部合唱に取り組み、深い響きのある合唱曲に挑みます。また、ア・カペラ曲にも取り組みます。感動の卒業式を目指し、がんばります。それが豊春中の伝統です。

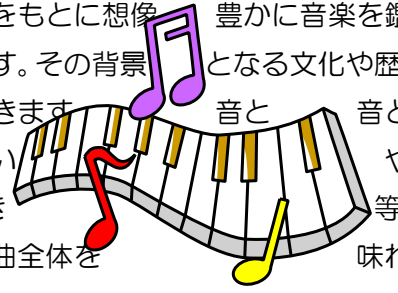


器楽（楽器演奏の許可が出たら・・・）

小学校で学習したソプラノリコーダーをさらに発展し、より幅広い曲に挑戦していきます。

1, 2年ではソプラノリコーダーを使い、より高度な曲にチャレンジ。「3年生を送る会」対面式で演奏します。3年ではいろいろな楽器を取り入れ、小集団による音楽活動をおこないます。箏を学習します。蝶結びは出来るか？音を出すまでに道具の扱い方や座り方などを学び、日本の音を感じ箏名人を目指しましょう



鑑賞 情景や詩をもとに想像豊かに音楽を鑑賞していきます。その背景となる文化や歴史にも触れていきます。音と音のかかわり合いや、曲の形式、働き等を理解しながら曲全体を味わっていきます。 また、我が国及び世界の音楽にも触れていきます。オペラやミュージカルなどの総合的な芸術も鑑賞します。 	創作 リズムは音楽の基本です。手や打楽器などを使ってリズム学習を中心に展開していきます。2年ではリズムパターンや、即興的な旋律をもとに、まとまりある音楽づくりを展開していきます。ポイントは、よく音を聴き、音を選んでいくことです。 3年では1・2年で取り組んできたリズムの学習に音高を付け、メロディーやハーモニーを考えしていきます。 
--	--

○授業の進め方、授業の持ち物

- 音楽ファイルを手さげ（小学校で作製したバックやエコバック等）に入れて持ってきてください。その中に、「音楽」と「器楽」の教科書、合唱曲集を入れてください。リコーダー（必要なときだけ）、筆記用具を入れて、これを「音楽セット」とします。（年度末に教科書は捨てないように！）
- 混声合唱曲に取り組めます。これは、女子がソプラノ（高い音域）とアルト（低い音域）に分かれ、これに男声加わったパートから成り立っている合唱曲です。男子はテノール（高い音域）バス（低い音域）に分かれて同じパートやそれぞれのパートを歌います。それぞれのパートでパートリーダーを決め、その人を中心にパート練習を行ってから全体での練習に入ります。ここでは特に、自主的な活動が求められます。
- パートリーダーは、各2名。1人は鍵盤楽器が弾ける人がいてくれた方がよいのですが、いなくてもCD等を利用してできるので、やる気のある人なら大歓迎です。練習の進め方は先生が伝授します。

○評価について

• 音楽は実技教科ですから、歌えることや、演奏できることが中心になります。そして、「表現する」だけでなく「聴く」という感受性も大事になります。小学校や中学校で学んだ最低限の音楽知識は必要ですが、知識を丸暗記するのではなく、その知識を生かして表現できることがとても大切です。そして何よりも真剣な態度で一生懸命活動している姿こそ評価したいと考えています。（忘れ物は許されません）

1年間を通して、次の4つの観点から学習の様子をA,B,Cの3段階で評価し、5段階の評定を算出します。

♪知識・技能

- ・曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。
- ・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している。

♪思考・判断・表現

- ・音楽表現を創意工夫することや、音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって聴いたりしている。

♪主体的に学習に取り組む態度

- ・音や音楽、音楽文化に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的。協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

○校内合唱祭について（今年度は10月20日（木））

豊春中学校では、毎年10月下旬に、春日部市民文化会館大ホールにおいて校内合唱祭を開催しています。ここでは、クラス合唱（課題曲・自由曲）、学年合唱、全校合唱の曲を披露します。

授業で行う、パートリーダーを中心としたパート練習、合唱練習を工夫し、互いの協力でしっかりとつくり、「歌わされている」のではなく一人一人の「歌いたい」気持ちを結集してつくる合唱をめざしましょう。

当日は、外部講師を依頼して審査をします。ここ数年は、事前練習にもお越しいただき、クラス合唱曲のアドバイスをいただいています。ピアノ伴奏者にも、混声合唱団のプロにピアニストからコメントを書いただいています。表彰は昨年度は、各学年ごとに優秀賞2クラス、ベストコンダクター賞・ベストピアニスト賞がありました。

最優秀賞受賞クラスは、春日部市小中学校音楽会への出場権が与えられます。

「合唱の豊春」の伝統をしっかり受け継ぎ、素晴らしい合唱祭にしましょう。

○修学旅行（3年生）での合唱交流（今年度は6/22～6/24 合唱交流は6/23 夜）

3年生の修学旅行の2日目の夜は、地元京都で日本を代表する合唱団と合唱交流を行っています。20数年前からは、同志社グリーンクラブと合唱交流を行っています。合唱コンクール全国大会常連の大学生のアカペラ男声合唱の表現力と迫力は素晴らしく、3年生は微動だにせず聴き入っています。交流会後、特に男声は毎年飛躍的に上手になっていきます。「合唱の豊春」に欠かせない大切な行事です。

○3年生を送る会（3/8）、卒業証書授与式（3/15）での演奏

3月上旬に3年生を送る会が行われます。3年生入退場時は1,2年生がソプラノリーダーを吹奏楽部・箏曲部とコラボ演奏。振り付け有りの合唱も披露します。卒業証書授与式では、在校生・卒業生それぞれが合唱曲を歌い上げ、感動の式典となります。